



なかまる小だより

学校教育目標

「気づき 考え 行動する児童を育成する。」

北本市立中丸小学校 TEL 048-591-2006

令和3年5月31日

第3号



人とかがわる力の育成

～楽しい異年齢集団活動～



校長 恵守 孝二

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。保護者・地域の皆さまにおかれましては、なお一層お健やかに過ごしのことと存じます。

新学期が始まり2か月が過ぎ、各学年・学級においては新たな人間関係が作られてくる時期です。お子さまの友達関係は、いかがでしょうか。

近年は、核家族化や少子化の進展に伴い、地域社会や家庭の環境が大きく変化し、子どもたちが異年齢の集団で一緒に遊ぶ機会が少なくなりました。そのため、仲間との関わり方に課題が見られるようになってきたことは否めません。

本校では、「人とかがわる力」を育てるために、1年生から6年生で編成している「なかよし（縦割り）グループ」による「なかよし活動」を実践しています。昼休みから掃除の時間にかけて、（清掃なしで30分間）校庭でボール遊びをしたり鬼ごっこをしたり、上級生も下級生も一緒になって遊びます。運動会の時には、同じチームとなって、力を合わせて競技したり応援したりもします。

今年度も、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年を尊敬できるような教育活動を展開していきたいと考えています。



“かがやく瞳 はじける笑顔” 6年球技大会

5月13日（木）、北本市体育センターを会場に、市内球技大会（Aブロック）が開催されました。本校6年生は、石戸小・北小・中丸東小と対戦しました。

無観客、拍手による応援など、感染症予防のため、一昨年までとは雰囲気異なる大会でしたが、全力でプレーする子どもたちの姿は、実に頼もしく輝いて見えました。

保護者の皆様には、練習から当日まで様々なご支援・ご協力を賜り、ありがとうございました。



一人一人の教育的ニーズに応じる 特別支援教育（1）

特別支援教育とは、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

つまり、主役である子ども一人一人の個性や違いを認め、それそれぞれの良さを十分に引き出しながら、必要とする適切な支援をしていくことです。

*特別支援教育は、特別の教育ではなく「当たり前前の教育」です。

*特別支援教育の考え方の基本は、「みんなちがって、みんないい」です。（7月号では、本校の現状についてお知らせする予定です。）

令和3年度 6月行事予定表

1	火	Yesデー 全校朝会 プール清掃 ピースミュージアム平和学習4年(5校時・多目的ホール) 心臓検診1年予備日	16	水	元気タイム 群分け集会(昼休み)
2	水	元気タイム 田植え体験5年5校時	17	木	スクールカウンセラー来校
3	木	第1回学校運営協議会 内科検診1・3年13:30～	18	金	
4	金	教育相談日	19	土	土曜補習①
5	土		20	日	
6	日		21	月	読書タイム クラブ③ 授業公開3・6年 校内硬筆展①
7	月	読書タイム クラブ②	22	火	授業公開2・4年 校内硬筆展② 運動器検診5年13:30～
8	火	児童集会(委員会紹介)	23	水	授業公開1・5・な年 校内硬筆展③
9	水	元気タイム	24	木	
10	木	PTAおはよう運動 歯科健診	25	金	
11	金	民生・児童委員会議 下校指導	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	クラスの時間 委員会(7月分)
14	月	読書タイム	29	火	全校朝会(7月分)
15	火	Yesデー 音楽朝会	30	水	元気タイム

- 5/21～5/28に行われた個人面談にご来校いただきありがとうございました。また、手指消毒やマスク着用等にご協力いただき感謝いたします。日頃のお子様の家庭での様子や気になっておられることなどお聞かせいただいたり、お子様の学校での様子や担任の考えなどをお伝えできたりして、大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。今後も、お子様のより良い成長のため、保護者の皆様と学校が連携を図り、信頼関係を築いていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
- 6/21～6/23、新型コロナウイルス感染拡大防止のため授業公開を学年別及び地区別に行い、学級懇談会を実施しないことにいたしました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 1・3年生の内科検診を6月2日に予定しておりましたが、校医さんの都合により、6月3日に変更となりました。

登下校の安全確保について

○通学路で犯罪に巻き込まれないために

＜通学路で犯罪に巻き込まれないための基本＞

- ・ひとりにならない
- ・防犯ブザーは手の届くところにつける
- ・路上駐車中の車からはなるべく離れて歩く
- ・知らない人に話しかけられても近づかない

★通学路でひとりになったときは？

- ・防犯ブザーを手に持ち、いつでも押せるようにする
- ・早歩きでキビキビと歩く
- ・人が近づいて来たら警戒する（後ろから来る人にも注意！）
- ・「こわい」と思ったら大声を出す・防犯ブザーをならす



○登下校中の子どもに迫る交差点・横断歩道の事故

安全な登下校をするためには、不審者だけでなく、交通事故からも身を守る必要があります。中でも、交差点や横断歩道は事故が発生しやすい場所です。歩行者信号が青だったにもかかわらず、車が進行して事故になるケースも少なくありません。本来なら、歩行者信号が青であれば、車は停止する義務があります。信号がない横断歩道でも、歩行者が優先です。手前で一時停止して、歩行者が渡るのを待たなくてはなりません。

青信号になった途端、飛び出していく子どもを見かけることがあります。信号が変わった直後は特に事故のリスクが高いため、必ずひと呼吸置いて、安全が確認できてから渡るよう、保護者の方からも言い聞かせてください。

- ・歩行者信号が青でも、車が完全に停止したことを確認してから渡ること
- ・車の姿が見えたら念のため立ち止まって待ち、無理に渡ろうとしないこと

この2つは絶対に守りましょう。交通ルールを守っているだけでは防げない事故もあることをよく理解し、自分で自分の身を守る意識を持ちましょう。

●自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう！（保護者の努力義務です）

- 保護者は、児童又は幼児を自転車に乗せる時は、ヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。（道路交通法63条の11）
- 自転車乗用中に交通事故で亡くなった方の約5割が頭部の負傷が致命傷となり亡くなっています。自転車乗用中の事故の被害を軽減するために、お子さまが自転車に乗る際には、自転車専用ヘルメットを着用させるようにしてください。ご協力をお願いします。

